

第34回伝統建築文化推進協議会定例会 議事録

平成26年3月14日（金）

於 中目黒

PM. 7:00～8:30

1. 出席者6名（敬称略、五十音順）

狩野（文化財景観保全調査室）、高橋（金剛組）

田代（東急設計コンサルタント）、遠野（遠野未来建築事務所）

松嶋（松嶋哲英建築研究所）、山中（アマターブ一級建築士事務所）

2. 会からの連絡・報告事項（田代会員）

-1. 第1回総会：桜川市真壁での5-6月開催について

業務多忙につき、WEBでの総会ではどうか（田代会員）

→総会として集まって開催すべき。参加できない会員からは委任状が必要（狩野会員）

→了解（全員）

→研究会も企画するので各自発表などをお願いしたい。田代は大磯教会の事例と、京都の条例について報告する（田代会員）

→テーマは提供するので構造的な見解など欲しいと考えている（狩野会員）

-2. 会費の集め方について

郵便局に口座をつくり、振込票を送付する手続を進める（田代会員）

→了解（全員）

-3. 広く会の活動を広報することについて

引続きサイトに載せる自分たちの紹介文をお願いしたい（田代会員）

3. 研究会（狩野会員）

-1. 左下り観音調査の成果品配布 →了承（全員）

-2. 八槻家調査の成果品配布 →了承（全員）

左下りについては工事費見積りを松嶋会員提出。

4. 例会議題（田代会員）

-1. 今後の会の方向性について

現状、定例の参加者は設計者ばかり。施工者の参加も望みたいところ。設計者が施工者から学ぶところも多く、設計の段階で伝統工法を組み込むためにも設計者と施工者の交流が大切と考え、上遠野会員が当会のメンバーを集めたはず。

しかし、伝統工法による施工の際、地方では補助金申請や適切は見積書の作成や確認申請などの行政手続き書類など困難なこともあると聞く。そのような状況へアドバイスできる集団として現状の設計者ばかりの伝建協会の会員は、ここ数年は活動するしかないのではないか（田代会員）

→了解した（全員）

5. 保存検討依頼の情報（遠野会員）

つくば市小田の江戸時代の農政学者長島尉信（やすのぶ、1781-1867）の土塀が残る屋敷跡がつくば市に物納された。地元の方や瓦屋、左官屋さんはもったいないと残念がっているとのこと。どのようにして保存すればよいのか。（遠野会員）

→周辺も含めた写真等もう少し状況をお願いします（田代会員）

→了解した（遠野会員）

6. 今後の会員の研究課題について

- ・ 東日本大震災での礎石より水平移動した総門（高橋会員予定）
- ・ " " 鳥居（第15回定例で済）
- ・ " " 本殿（高橋会員予定）
- ・ " " 門（高橋会員予定）
- ・ 震災と土蔵（上遠野） （第9回定例で終了済）
- ・ 震災と民家（岡田会員予定） ・ 震災と町屋（未定）
- ・ 店蔵・土蔵の左官震災復興支援委員会の創設（上遠野）
- ・ 伝統工法の断熱の向上方法（埴会員予定）
- ・ 町屋の構造解析法の解説（松嶋会員）
- ・ 伝統工法の寺院の倒壊メカニズムの研究（全員、随時開催）
- ・ 文化財改修工事願成寺（狩野会員）開催済
- ・ 伝統工法の各部詳細について その1 基礎（狩野会員）開催済
- ・ 限界耐力計量法について（松嶋会員）開催済
- ・ いわき市の震災で被害を受けた寺院の分析（高橋清会員他）開催済
- ・ 和風伝統文化（畳文化）の衰退の主因と復興（小西会員）
- ・ その他

今後の行事について

- ・ 金剛組の寺院の工事現場見学会等

7. 次回定例日及び、イベント日等

日時：平成26年4月11日（金）

場所：目黒区中目黒3-1-33 東急設計コンサルタント、2階応接室
最寄り駅：東横線・日比谷線中目黒駅、
山手通側正面出口、改札を出て左の南へ徒歩5分、
駒沢通りとの交差点（中目黒立体交差）ガソリンスタンド隣

連絡先 事務局担当 鈴木

TEL:03-3455-3211 FAX:03-3455-3212

E-mail:suzuki@kongogumi.co.jp

※出欠の連絡は、鈴木会員宛お願い致します。